あ ら ま し

世界に開かれた国際都市

千歳市における空港の歴史は、現在の国道36号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正15年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し、今年、100年の節目を迎えます。

新千歳空港は、２本の3,000m滑走路を有する北海道の基幹空港です。北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しており、平成６年には日本初の24時間空港として運用を開始し、平成22年３月には国際線旅客ターミナルビルが供用を開始しました。また、令和２年６月からは、民間委託により、北海道エアポート株式会社による滑走路などの空港関連施設とターミナルビル等の上下一体運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営によって、就航路線の拡大、利用者利便の向上など、さらなる発展が期待されます。

新千歳空港の乗降客数は、令和２年以降、新型コロナウイルス感染症拡大により大きく落ち込みましたが、令和４年からは増加に転じ、令和７年度では、国内線が約2,148万7千人、国際線が約452万8千人の合計約2,601万5千人で、インバウンド需要の増大などにより、国内線・国際線ともに年度実績として過去最高を記録しました。

航空路は、令和７年度実績で国内各地30都市、海外では韓国、台湾、中国など東アジアを中心に21都市と結ばれています。中でも、１日57往復（令和８年４月現在）が運航する新千歳－羽田線は、世界有数の輸送人員を誇る路線です。

市内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の４つの旅客駅が設置されています。令和６年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内２位、８位と多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うＪＲ千歳線は市街地において高架化されたＪＲ北海道の最大幹線で、道内主要都市からの空港連絡鉄道のほか、本州連絡鉄道としての性格を帯びています。

国道36号は、札幌－千歳－苫小牧－室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道５路線と道道14路線や鉄道とともにネットワークを構成す

ることで、物流の合理化など北海道の発展に大きく寄与しています。

また、北海道を縦横断する高速自動車国道の「北海道縦貫自動車道」と「北海道横断自動車道」では、道内における連絡機能の強化や地域間交流の活性化、新千歳空港等への物流の効率化等の支援を目的として、各道路の拠点となる道内主要都市へ向けた整備が進められています。市内では、千歳ＩＣ、千歳東ＩＣ及び新千歳空港ＩＣが接続されています。また、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和２年３月には千歳－長沼間を結ぶ泉郷道路、令和７年３月には南幌－江別を結ぶ中樹林道路が開通するなど整備が進んでいます。

千歳は、国際拠点港湾を有する苫小牧・室蘭と鉄道や道路で直結しており、北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点として、成長を続けています。



59　新千歳空港概要

(1) 基本施設

面　　積　728万㎡
滑 走 路　A滑走路　延長3,000m　幅60m（アスファルトコンクリート舗装）
　　B滑走路　延長3,000m　幅60m（アスファルトコンクリート舗装）
誘 導 路　延長17,174m　幅23m～58m
エプロン　面積826,504㎡　大型航空機用53バース　中型航空機用３バース
　　小型航空機用８バース

北海道エアポート㈱

(2) 旅客ターミナルビル

ア　床面積・用途

（単位　㎡）

区　分	国内線ターミナルビル	用　途
地下1階	23,807	
1　階	43,972	バゲージクレーム　到着ロビー等
2　階	57,582	出発ロビー　搭乗待合室　ショッピングワールド等
3　階	36,624	グルメワールド　有料待合室　ホテル等
4　階	16,815	温泉施設　映画館　有料待合室　ホテル等
5　階	4,722	ホテル等
塔　屋	610	
計	**184,132**	

区　分	国際線ターミナルビル	用　途
地下1階	821	
1　階	27,302	車寄せロビー　ホテル等
2　階	41,510	到着ロビー　到着コンコース　ホテル等
3　階	42,807	出発ロビー　出発コンコース　ホテル等
4　階	16,259	有料待合室　ホテル等
5　階	4,146	ホテル等
6　階	3,580	ホテル等
7　階	3,580	ホテル等
8　階	3,580	ホテル等
塔　屋	53	
計	**143,638**	

区　分	連絡施設	用　途
地下1階	224	
1　階	1,815	ホール
2　階	8,072	連絡通路等
3　階	8,072	エンターテイメント施設
4　階	2,942	機械室等
5　階	－	
塔　屋	3	
計	**21,128**	

イ　機械設備

（ア）国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	24基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	10基
	出発・到着ベルトコンベア	28基　（出発18　到着10）
	ダムウェーター	1基
フライトインフォメーション	一式　制御操作装置・表示ボード129台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	43台	
構内電話交換設備	一式　大容量デジタル式交換機	

（イ）国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	31基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	6基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	27基
	ホテル客用エレベーター	2基
	人荷用エレベーター	11基
	出発・到着ベルトコンベア	37基　（出発26　到着11）
フライトインフォメーション	一式　制御操作装置・表示ボード193台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	29台	
構内電話交換設備	一式　大容量デジタル式交換機（国内線配下装置）	

（ウ）連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	8基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	3基
	人荷用エレベーター	1基
フライトインフォメーション	表示ボード20台	
デジタルメディア設備	20台	

北海道エアポート㈱





(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア　航空会社棟

（単位　㎡）

区　分	日本航空棟	ＡＮＡ棟	用　途
地下1階	484	236	荷捌場・事務室等
1　階	7,990	5,618	
2　階	965	369	
計	**9,439**	**6,223**	

イ　代理店棟（日通棟を含む）

（単位　㎡）

区　分	代理店上屋	用　途
地下1階	245	荷捌場・事務室等
1　階	4,645	
2　階	1,269	
計	**6,159**	

北海道エアポート㈱

(4) ターミナルアネックスビル

（単位　㎡）

区　分	ターミナルビル付属棟	用　途
地下1階〜5階（塔屋含む）	7,602	事務室等

北海道エアポート㈱

(5) ケータリング（機内食）施設

（単位　㎡）

区　分	ケータリング施設	用　途
1階〜2階	10,160	機内食工場・食品調整工場等

北海道エアポート㈱

(6) 車両整備格納庫

（単位　㎡）

区　分	A　棟	B　棟	用　途
1階〜2階	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫

北海道エアポート㈱

(7) ビジネスジェット専用施設

（単位　㎡）

区　分	ビジネスジェット専用施設	用　途
1　階	592	専用待合室等

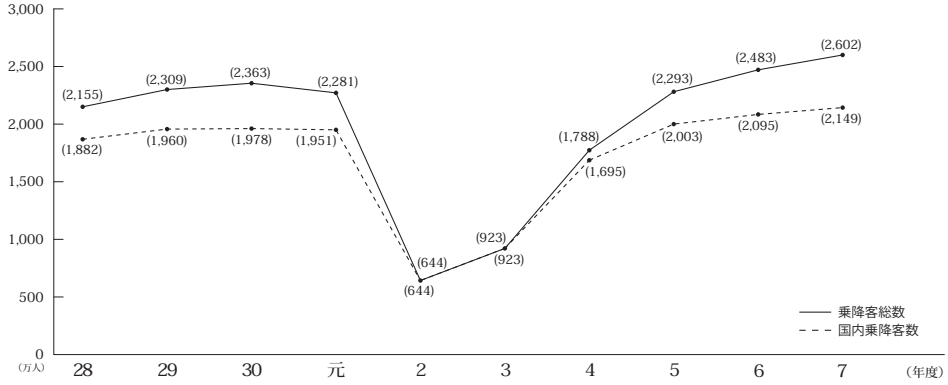
北海道エアポート㈱

60　新千歳空港乗降客数の推移

年　別	総　　数	乗　　客	降　　客
2　年	(634,398) 9,299,961	(328,474) 4,704,722	(305,924) 4,595,239
3　年	(25) 8,233,438	(17) 4,122,890	(8) 4,110,548
4　年	(257,382) 15,227,741	(119,563) 7,645,938	(137,819) 7,581,803
5　年	(2,597,316) 22,257,362	(1,273,736) 11,171,669	(1,293,580) 11,085,693
6　年	(3,524,565) 23,961,045	(1,750,318) 12,019,225	(1,774,247) 11,941,820
7　年	**(4,342,861)** **25,836,515**	**(2,160,110)** **12,955,482**	**(2,182,751)** **12,881,033**
2年度	(10) 6,436,345	(1) 3,234,650	(9) 3,201,695
3年度	(101) 9,229,270	(95) 4,639,278	(6) 4,589,992
4年度	(929,509) 17,876,335	(456,608) 8,974,192	(472,901) 8,902,143
5年度	(2,902,433) 22,933,723	(1,443,044) 11,514,832	(1,459,389) 11,418,891
6年度	(3,875,359) 24,825,918	(1,930,138) 12,455,859	(1,945,221) 12,370,059
7年度	**(4,527,903)** **26,015,370**	**(2,250,789)** **13,045,334**	**(2,277,114)** **12,970,036**

1　（　）内は国際線乗降客数で再掲である
2　令和７年・令和７年度の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

乗降客の推移



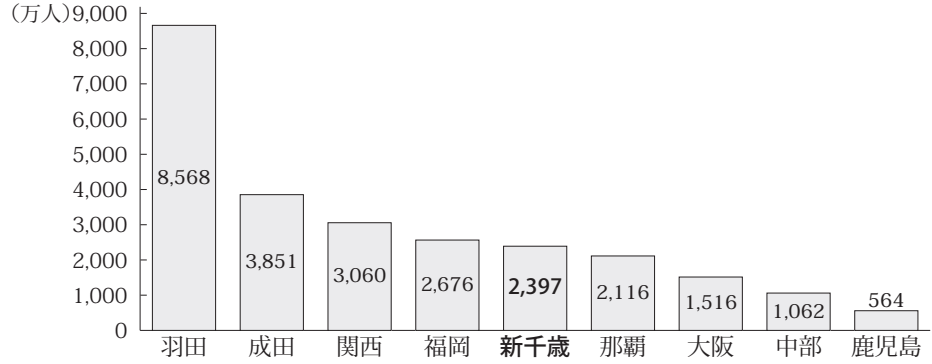
1　令和７年度の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

61　新千歳空港乗降客数（令和７年）

種別		路線	乗降客数
総数			**25,836,515**
国内線総数			**21,493,654**
拠点空港	空港会社管理	成田	1,956,711
		中部	1,461,583
		関西	1,380,573
		大阪	1,435,958
	国管理空港	稚内	62,049
		釧路	87,991
		函館	79,763
		仙台	909,506
		新潟	181,710
		東京	10,446,323
		広島	207,771
		福岡	1,007,441
		沖縄	121,710
	特定地方管理空港	秋田	78,845
		山形	41,126
地方管理空港		利尻	27,149
		中標津	103,289
		女満別	227,500
		青森	193,725
		花巻	85,815
		福島	42,695
		富山	89,070
地方管理空港		松本	57,108
		静岡	120,947
		神戸	687,631
		岡山	89,122
		出雲	5,684
共用空港		茨城	198,311
		小松	99,730
		徳島	3,989
その他			2,829
国際線総数			**4,342,861**
韓国（ソウル、釜山、大邱、済州、清州）			1,843,815
台湾（台北、高雄）			887,672
香港			431,573
中国（北京、上海、天津、西安、深圳）			554,507
その他定期路線（バンコク、シンガポール、チェンマイ、クアラルンプール、マニラ、シドニー）			624,072
チャーター便等			1,222

1　数値は速報値
北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

主要空港乗降客数（令和６年）



国土交通省「空港管理状況調書」（空港政策課）

62　新千歳空港貨物取扱量の推移

（単位　t）

区　分	総数		積荷		降荷	
	6　年	7　年	6　年	7　年	6　年	7　年
総　数	**(7,640)**	**(9,877)**	**(4,780)**	**(5,173)**	**(2,860)**	**(4,704)**
	152,048	**157,564**	**77,433**	**73,991**	**74,615**	**83,573**
1　月	(474)	(703)	(329)	(365)	(145)	(338)
	8,600	10,907	3,703	4,698	4,897	6,209
2　月	(637)	(568)	(505)	(329)	(132)	(238)
	8,867	10,588	3,773	4,410	5,094	6,178
3　月	(608)	(667)	(459)	(358)	(149)	(309)
	10,509	11,787	4,480	4,808	6,029	6,980
4　月	(542)	(637)	(417)	(388)	(125)	(250)
	10,669	12,157	4,851	5,429	5,818	6,728
5　月	(571)	(709)	(420)	(423)	(151)	(286)
	10,397	11,854	4,983	5,411	5,414	6,443
6　月	(596)	(571)	(407)	(368)	(189)	(203)
	11,650	12,004	6,097	5,723	5,553	6,281
7　月	(588)	(622)	(393)	(373)	(195)	(249)
	14,260	15,320	8,195	8,355	6,065	6,965
8　月	(571)	(646)	(409)	(373)	(162)	(273)
	14,212	14,500	8,319	7,859	5,893	6,641
9　月	(735)	(649)	(437)	(370)	(298)	(278)
	15,094	13,906	8,714	7,489	6,380	6,418
10　月	(625)	(886)	(314)	(418)	(311)	(468)
	16,111	15,035	9,321	7,791	6,790	7,245
11　月	(677)	(1,607)	(290)	(640)	(387)	(967)
	14,813	13,772	7,517	5,942	7,296	7,830
12　月	(1,016)	(1,613)	(400)	(767)	(616)	(846)
	16,866	15,733	7,480	6,077	9,386	9,657

1　（　）内は国際貨物量で再掲である
2　令和７年の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、北海道エアポート㈱新千歳空港事業所（空港政策課）

63　千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の４による共用飛行場です。

面　積　約1,060万㎡

滑走路　東側滑走路　延長3,000m　幅60m（セメントコンクリート舗装）
西側滑走路　延長2,700m　幅45m（アスファルトコンクリート舗装）

1　**表233（3）**に再掲
航空自衛隊千歳基地
※基地全体　1,054万㎡
飛 行 場　621万㎡

64　空港除雪車両車種別保有台数

車　種	新千歳空港
プラウ除雪車	21
スイーパ除雪車	20
ロータリ除雪車	9

車　種	新千歳空港
凍結防止剤散布車	3
計	**53**

北海道エアポート㈱

65　鉄道旅客輸送人員の推移（乗車人員）

（単位　千人）

駅　名	2　年　度	3　年　度	4　年　度	5　年　度	**6　年　度**
総　数	5,203	5,981	8,440	10,642	**11,718**
千　歳　駅	2,485	2,520	2,904	3,227	**3,466**
南千歳駅	329	349	449	580	**666**
新千歳空港駅	2,389	3,112	5,086	6,835	**7,587**

1　長都駅は無人駅のため不詳
2　美々駅は平成29年３月４日廃止
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

66　令和６年度道内駅別乗車人員（１日平均）

（単位　人）

順　位	駅　名	乗車人員
1（1）	札　幌	86,042
2（2）	**新千歳空港**	**20,785**
3（3）	新札幌	14,949
4（4）	手　稲	13,549
5（5）	桑　園	10,508
6（6）	琴　似	9,962
7（7）	北広島	9,575
8（8）	**千　歳**	**9,496**
9（9）	小　樽	9,037
10（10）	白　石	7,470

順　位	駅　名	乗車人員
11（11）	恵　庭	7,366
12（12）	苗　穂	6,101
13（13）	大　麻	5,318
14（14）	野　幌	5,266
15（15）	星　置	4,826
16（17）	発　寒	4,156
17（16）	発寒中央	4,109
18（18）	稲積公園	4,012
19（22）	旭　川	3,814
20（19）	岩見沢	3,763

1　（　）内は前年度順位
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

67　高速自動車国道

(1) 道央自動車道施設概要

路　線　名　北海道縦貫自動車道　函館名寄線
区　　間　茅部郡森町－士別市
延　　長　443.5㎞（千歳市域9.5㎞）
車　線　数　４車線（一部暫定２車線）
設計速度　120㎞／時、100㎞／時及び80㎞／時
規制速度　最高速度100㎞／時（一部区間80㎞／時又は70㎞／時）
　　最低速度50㎞／時
サービスエリア　４か所（有珠山　樽前　岩見沢　砂川）
パーキングエリア　11か所（八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪）

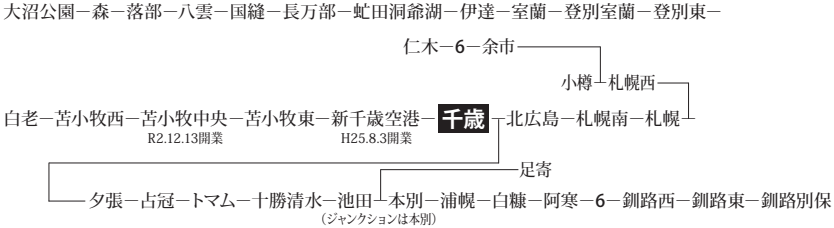
1　令和８年３月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社・北海道開発局

(2) 道東自動車道施設概要

路　線　名　北海道横断自動車道　黒松内釧路線・黒松内北見線
区　　間　千歳市－釧路市、足寄町（国　直轄区間（本別～釧路別保）を含む）
延　　長　254.1㎞（千歳市域18.4㎞）
車　線　数　暫定２車線
設計速度　100㎞／時及び80㎞／時
規制速度　最高速度70㎞／時（一部区間80㎞／時）
サービスエリア　１か所（十勝平原）
パーキングエリア　５か所（キウス　由仁　占冠　長流枝　上浦幌）

1　令和８年３月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社・北海道開発局

(3) 供用状況（インターチェンジ）



1　令和８年３月31日現在
2　供用状況欄のインターチェンジ間の数字は、令和６年度供用開始を示す
3　千歳－阿寒・足寄間は道東自動車道を示す（ジャンクションは千歳恵庭）
4　札幌－小樽間は札樽自動車道を示す（ジャンクションは札幌）
5　小樽－余市間は後志自動車道を示す（ジャンクションは小樽）
北海道開発局

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移

（単位　台）

年度	総　数	日平均
3	3,054,766	8,369
4	3,924,311	10,752
5	4,359,306	11,911
6	4,771,129	13,072
7	**4,855,036**	**13,301**

NEXCO東日本北海道支社



68　バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

（単位　千人）

年度	3	4	5	6	**7**
輸送人員	2,027	2,316	2,552	2,635	**2,684**

1　千歳市内に路線を持つ会社６社の合計である
北海道中央バス㈱・道南バス㈱・千歳相互観光バス㈱・あつまバス㈱・十勝バス㈱・富士交通㈱

(2) 会社別・路線別輸送人員（令和７年度）

（単位　千人）

会社名	路線	輸送人員
北海道中央バス		**1,840**
	千歳	599
	千歳空港支笏湖	61
	苫小牧	287
	千歳市内	893
道南バス		**383**
	苫小牧千歳空港	218
	室蘭千歳空港	59
	勇舞千歳空港	84
	登別千歳空港	22
千歳相互観光バス		**349**
	泉沢	259
	勇舞空港	90
あつまバス	千歳	**30**
十勝バス	青葉	**61**
富士交通	市民病院プール	**21**

北海道中央バス㈱・道南バス㈱・千歳相互観光バス㈱・あつまバス㈱・十勝バス㈱・富士交通㈱

69　タクシーの輸送状況の推移

年	会社数（社）	登録台数（台）	実車走行距離（千㎞）	乗車人員（千人）
4	6	201	3,627	1,621
5	6	192	5,425	2,008
6	6	189	6,040	1,927
7	6	189	6,547	1,872
8	**6**	**206**	**6,733**	**1,761**

1　各年度末現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70　自動車車種別登録台数の推移

（単位　台）

車種		3年度	4年度	5年度	6年度	**7年度**
貨物用	普通車	2,859	2,876	2,931	2,922	**2,906**
	小型車	3,264	3,356	3,669	3,726	**3,825**
	被けん引車	332	334	369	390	**418**
	計	6,455	6,566	6,969	7,038	**7,149**
乗合用	普通車	211	220	237	258	**278**
	小型車	214	208	230	262	**263**
	計	425	428	467	520	**541**
乗用	普通車	20,220	22,159	23,681	24,748	**26,994**
	小型車	23,232	23,853	23,284	23,811	**24,345**
	計	43,452	46,012	46,965	48,559	**51,339**
特種(殊)用途	特種車	1,335	1,350	1,372	1,441	**1,480**
	大型特殊車	738	759	781	801	**811**
	計	2,073	2,109	2,153	2,242	**2,291**
小型二輪車		1,469	1,555	1,603	1,628	**1,606**
軽自動車		27,024	27,522	28,194	28,633	**29,334**
総数		80,898	84,192	86,351	88,620	**92,260**

1　各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局ホームページ「市町村別保有車両数年報（札幌運輸支局管内）」、一般社団法人全国軽自動車協会連合会（総務課）

71　電話加入状況の推移

（単位　台）

年度	加入電話					公衆電話	
	総数	区分		100人当たり普及台数	住宅用電話比率（%）	総数	1,000人当たり普及台数
		事務用	住宅用				
3	11,409	3,425	7,984	11.7	70.0	128	1.3
4	10,563	3,204	7,359	10.9	69.7	117	1.2
5	10,373	3,541	6,832	10.7	65.9	110	1.1
6	9,189	2,833	6,356	9.5	69.2	99	1.0
7	**8,447**	**2,718**	**5,729**	**8.7**	**67.8**	**90**	**0.9**

1　各年度末現在（INSネット回線含む）
2　INSネット1500は10回線換算とした
NTT東日本（株）北海道支店

72　郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局（再掲）		
3	15	1	112	109
4	15	1	113	107
5	15	1	111	105
6	15	1	101	104
7	15	1	98	103
8	**15**	**1**	**82**	**101**

1　各年4月1日現在
日本郵便㈱北海道支社
※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73　放送受信契約数の推移

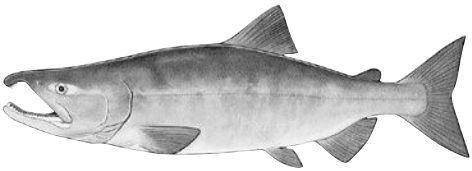
（単位　件）

年度	契約数	衛星契約数（再掲）
2	37,307	17,416
3	37,121	17,366
4	37,214	17,348
5	37,147	17,256
6	**37,569**	**17,049**

1　各年度末現在
2　ＮＨＫホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」（総務課）

市の魚　サケ

平成８(1996)年11月１日制定



（サケ科の海産硬骨魚）

「千歳」という地名が生まれる以前から川にはたくさんのサケがそ上し、この地に住む人々の貴重な食糧でした。

今も千歳川をそ上するサケは、捕魚車「インディアン水車」とともに秋の風物詩となっています。

地下観察室で川中のサケのそ上が見られる「サケのふるさと千歳水族館」などサケを主役とした施設が市内観光の一大ポイントとなっています。